

定例記者会見資料(別冊)

令和7年度 松戸市当初予算案について

令和7年度松戸市当初予算案を令和7年
松戸市議会3月定例会に提案します



①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

新規 (1) 物価高騰対策として

令和7年度予算額：①②8億1,009万8千円
(一般財源額)
(会計別予算案 P147, 148)

①小・中学校給食費の完全無償化(1学期)

(アレルギー等で弁当を持参している児童・生徒への支援含む)

(学校給食担当室 担当:飯澤 ☎047-366-7463)

【支援内容】 保護者の経済的負担の軽減を図るため学校給食費(アレルギー等で弁当を持参している世帯への弁当代補助を含む)を1学期のみ完全無償化する。

一人あたり小学生:約5,000円/月、中学生:約6,000円/月の保護者負担軽減

【予算額】 一般財源額:7億6,503万6千円

【対象者】 松戸市立小・中学校に在籍している児童・生徒全員(小学生21,985人 / 中学生10,657人)

【対象期間】 令和7年4月分から7月分まで

②私立小・中学校等就学者、長期欠席の児童・生徒への昼食費支援(1学期)

(学校給食担当室 担当:飯澤 ☎047-366-7463)

【支援内容】 保護者の経済的負担の軽減を図るため該当世帯に対し昼食費負担軽減の一助として『支援金』を1学期のみ給付する。

一人あたり給付額/月 小学生:低学年(1・2年生)3,800円、中学年(3・4年生)4,000円、高学年(5・6年生)4,300円
中学生:5,000円

【予算額】 一般財源額:4,506万2千円

【対象者】 私立学校等:松戸市立以外の小・中学校に就学している児童・生徒
長期欠席:松戸市立小・中学校在籍者で学校を欠席し、給食を停止している児童・生徒

私立学校等:1,250人(小学生250人 / 中学生1,000人) 長期欠席:1,100人(小学生450人 / 中学生650人)

【対象期間】 令和7年4月分から7月分まで

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

新規

(1) 物価高騰対策として

令和7年度予算額：

③④ 1億5,387万9千円（一般財源額）
⑤ 203万6千円

③幼稚園児・保育園児への給食費支援（1学期）（会計別予算案 P59, 64, 65, 67, 71）

（保育課 担当：秋谷 ☎047-366-7351）（幼児教育課 担当：安蒜 ☎047-701-5126）

第2子・第3子以降の幼稚園・保育園等での給食費を支援します。

【支援内容】 第2子 半額に減免

第3子以降 無償

【対象人数】 4,892人 ※幼稚園、認定こども園（教育利用者）、認可外施設については、第2子月額2,500円・第3子以降月額5,000円を給付

【予算額】 一般財源額：6,718万1千円

（内訳）

保育課	（歳入）	▲700万円	（対象：公立保育所）
保育課保育運営担当室	（歳出）	2,027万円	（対象：民間保育園・認定こども園（保育利用者））
保育課入所入園担当室	（歳出）	66万円	（対象：県指定監督基準等を満たした認可外保育施設）
幼児教育課	（歳出）	3,925万1千円	（対象：幼稚園・認定こども園（教育利用者））

④第3子以降の保育料の完全無償化（9月～）（会計別予算案 P64, 66, 67）

（保育課 担当：秋谷 ☎047-366-7351）

第3子以降について、保育料減免の年齢制限を見直し、完全無償化とします。

【拡充内容】（国基準）第3子以降 無償 第1子の年齢制限あり（カウント対象の子は、生計を一にする未就学の子）
（現行）第3子以降 無償 第1子の年齢制限あり（カウント対象の子は、生計を一にする小学3年生までの子）
（見直し）第3子以降 無償 第1子の年齢制限なし（カウント対象の子は、生計を一にする子）

【対象人数】 404人

【予算額】 一般財源額：8,669万8千円

（内訳）

保育課保育運営担当室	（歳出）	3,726万8千円	（対象：認定こども園・小規模保育事業所）
保育課入所入園担当室	（歳入）	▲4,943万円	（対象：公立保育所・民間保育園）

⑤フリースクール等を利用する不登校の児童・生徒への支援（1学期）（会計別予算案 P136）

（児童生徒課 担当：日野 ☎047-366-7461）

不登校児童生徒が通うフリースクール等の月額利用料金の一部を補助します。

【補助内容】（目的） 不登校児童・生徒の多様な教育機会の確保

（対象者） フリースクール等を利用する不登校児童・生徒の保護者

（対象期間） 令和7年4月～7月の4か月間 （補助率および金額） 月額利用料金の3分の1 月額補助上限1万円

【予算額】 203万6千円

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

※県内初の取り組み事業

新規

(2) 『小学1年生の壁対策』のひとつとして
全小学校で始業前の児童への見守りを実施

令和7年度予算額：4,234万9千円
(会計別予算案 P138)

始業前の児童見守りを全市立小学校にて実施し、朝の居場所づくりと教職員の負担軽減を図る

(教育総務課 担当：斉藤 ☎047-366-7455)

●事業の目的

保育園の預かり時間との違いによる子どもの預け先
がなくなる「小1の壁」問題に対応

➡ 教職員に負担をかけずに実施する

●事業の実施方法

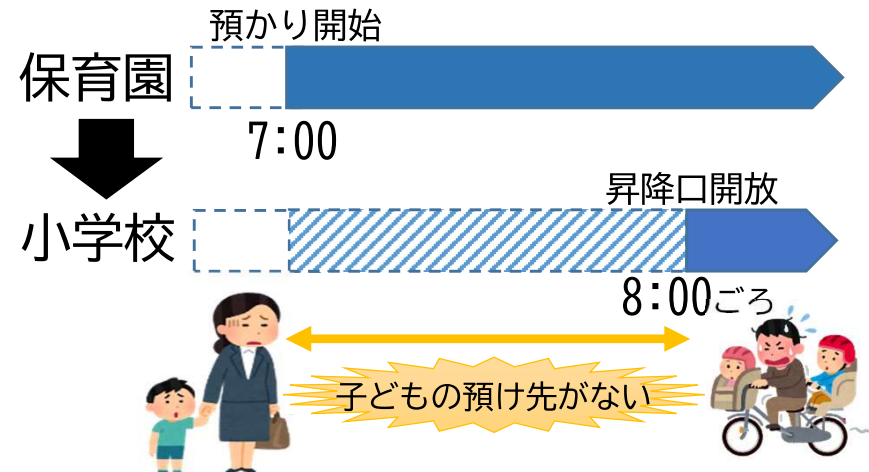
昇降口開放よりも早い時間に登校した児童たちを、
シルバー人材センターの会員2名で見守る。始業後は
校内清掃などを行い、教職員の負担軽減を図る。

令和7年度は市立小学校 全校(45校)で実施

令和6年度 試行した小学校からの声

- 大人の目があることで、児童の安全面の向上や不審者への抑止に繋がっている。
- 校庭の草むしりや落ち葉拾い、校内清掃等、学校の美化活動をしてもらうことで教職員の負担軽減になっている。
- 遅れてくる子どもに対し、人生経験豊富なシルバー会員が上手に対応し、教室まで付き添ってくれるなど非常に助かっている。

子育て世帯の「小1の壁」



シルバー人材センター



シルバー会員

校内清掃など

見守り(2人体制)

小学校



新規 (4) 双子等世帯への支援の充実

※県内初の取り組み事業

①双子等用ベビーカーの購入費用の一部補助

(会計別予算案 P50)

●予算額：121万5千円 (子ども未来応援課 担当：西原 ☎047-366-7347)

双子等世帯に対し、経済的負担の軽減を図るとともに外出支援を行うため、**双子等用ベビーカーの購入費用の一部を補助**します。
想定対象数：40世帯、上限3万円

②双子等の知識や支援に関する研修の実施及び双子等世帯の交流の推進 (会計別予算案 P27,46)

●予算額：15万3千円 (子ども未来応援課 担当：西原 ☎047-366-7347)

双子等世帯の保護者がおやこDE広場等の身近な場所でいつでも相談でき、安心して子育てできる環境を整えるため、子育てコーディネーターを対象に双子等の知識や支援に関する研修会を実施します。
また、双子等世帯特有の悩みを共有し、情報交換できる交流の機会を増やします。

③双子等世帯の家事育児支援ヘルパー派遣（まつドリbabyヘルパー）の要件緩和及び無料券の利用時間の拡大

(会計別予算案 P50)

●予算額：341万2千円 (こども家庭センター 担当：川上 ☎047-308-7210)

双子等世帯がまつドリbabyヘルパーを利用する場合の対象者要件を緩和し、**保育サービスを利用している世帯でも利用可能**とします。
また、利用促進のために配布している無料券の利用時間を**双子等世帯は12時間から20時間に拡大**することで、双子等世帯の家事育児の負担軽減を図ります。

④双子等家庭支援タクシー利用料の一部助成 (会計別予算案 P85)

●予算額：168万1千円 (こども家庭センター母子保健担当室 担当：角田 ☎047-366-5180)

双子等世帯の外出・経済的支援として、乳幼児健診・予防接種など母子保健事業の利用や双子等家庭向け交流会などへの移動の際に利用したタクシー料金の一部助成（1回につき2,000円、年30回）を行います。

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

新規

(5) 放課後児童クラブと小学校との連携強化 (児童の連続した生活の見守り)

令和7年度予算額：339万2千円

(会計別予算案 P57)

●放課後児童クラブと小学校との連携を図ることで1日の児童の様子を共有し、児童とともに育てていくことを目指します。
(子ども居場所課 担当：村上 ☎047-366-7464)

1 課題と目的

- 近年、子育て世帯の就労が増加し、放課後児童クラブの利用児童は増加傾向
- 配慮が必要な児童の受入れも年々増加
- 放課後児童クラブ支援員等については、求められる役割や責任が高度化、多様化し**更なる質の向上と処遇改善が必要**

○ 放課後児童クラブ登録児童数の増加

各年5月1日(人)

	R3	R4	R5	R6
クラブ児童数	4,279	4,627	5,079	5,378

2 業務内容

放課後児童クラブ支援員が、午前中は学校内で勤務、午後は放課後児童クラブで勤務し、児童の学校と放課後の連続した生活を支援するための体制を構築し、学校との連携を強化します。

児童の成長に関わる「気づき」の目を増やすことにより、きめ細かな対応を目指します。

連携に係る支援員の1日スケジュール(イメージ)

- 3・4時間目 10:30～12:00 学校で勤務
 - 給食・清掃 12:00～13:30 学校で勤務
 - 放課後 14:30～19:30 放課後児童クラブで勤務
- ※主に1年生等低学年の学級で実施

3 実施経費(予算)

- ① 1カ月1人当たりの追加人件費 75,362円
- ② 試行的に5カ所・9カ月で積算 75,362円×5カ所×9カ月=339万2千円